

さいせいおたる



社会福祉法人 恩賜財団済生会支部北海道
済生会小樽病院

〒047-0008 北海道小樽市築港10番1号
TEL 0134-25-4321(代)
FAX 0134-25-2888
URL <http://www.saiseikai-otaru.jp/>
発行 和田卓郎 発行日9月20日
編集 広報委員会(中村圭介)



「羊蹄山」

撮影 中村 圭介 (写真部)

■目次

- 02 コラム 緩和ケアチームのご紹介
- 05 福祉用具プランナーとしての作業療法士の役割
- 06 新入職員インタビュー
- 08 絵画展示・出前健康教室
- 09 連携医療機関紹介
- 10 無料低額診療事業のご案内 ほか

理 念

新たな地域医療の創造と社会貢献

患者中心、患者主体の医療

人を大切にする組織

緩和ケアチームのご紹介

コラム

緩和ケア認定看護師 石渡明子

概要

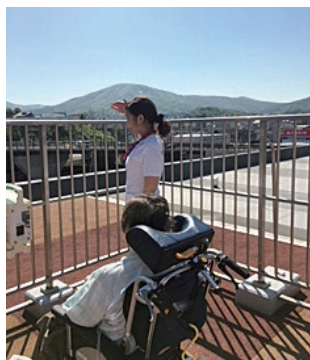
当チームは医師 3 名（うち非常勤精神科医 1 名）看護師 6 名（うち緩和ケア認定看護師 1 名）薬剤師 2 名（うち緩和薬物療養認定薬剤師 1 名）管理栄養士 1 名、理学療法士 2 名、作業療法士 2 名、その他 MSW、言語聴覚士などもケースによって介入しています。



主な活動としてはがん患者さんの痛み、呼吸困難、下痢、便秘、嘔気など個々の苦痛症状の緩和、不安や眠れないなど精神的な問題の相談、食べやすい食事の工夫、なるべく現在の生活のレベルが維持できるよう、医師だけではなく、チームの構成メンバーである多職種が皆さんを支えます。

また、楽しみをもてるようなリハビリも行っています。

患者さんの「つら



▲リハビリ風景屋上にて

さ」は同じ病気であってもそれぞれが全く違うものです。身体的な問題もあるでしょうし、社会的には金銭的な問題、介護の問題もあるかもしれません。

現役で仕事をされている方、まだ小さなお子さんがいる方もおられるでしょう。精神的な側面においてもケアが必要な方がたくさんいらっしゃいます。

そのような個々の「つらさ」をなるべく予防できることは予防し、起きてしまったことに対しては、少しでもつらさが緩和できるように関わっています。がんになって諦めていることは何ですか？がんになって困っていることは何ですか？ご家族が、がんに向き合う患者さんとうどう接したらいいかわからないということはないですか？もしくは、患者さんを看取る前に成し遂げたいことは何ですか？できるだけその患者さんにご家族の希望を叶えられるように、いつもの生活に近づけるようにサポートすることが私たちの役割です。ひとりで、そしてご家族だけで悩まないでお気軽に相談していただけたらと思います。



▲当院講堂にて。
お母さんにドレス姿を見せたい。
お母さん…ありがとう。

回診・カンファレンス

毎週火曜日の午後にチームでの回診、木曜日の午後にカンファレンスを行っています。

そこでは、個々の患者さんの抱えている困り事について、また、患者さんご家族の希望について関わっている皆で情報を共有し最善の緩和ケアについて話し合っています。

患者さん、ご家族の方の困り事、今後の不安に寄り添いながら、患者さん中心の視点で、患者さんご家族が納得できる医療、ケアを進めていくのが私たちのポリシーです。



▲カンファレンス

痛みの緩和

痛みの緩和には非麻薬性鎮痛薬と医療用麻薬の両方を使うことがあります。「麻薬」と聞くととても抵抗があるかもしれませんが、医療用麻薬は厚生労働省で認められているもので、中毒になったり、命を短くしたりするような薬剤ではありません。がんの痛みをとる

ための鎮痛剤のひとつとして外来でも処方できる安全なお薬です。

痛みを緩和する薬剤には種類も多数あります。内服といっても、細かくは錠剤、粉剤、液剤もあります。その他にも、貼付剤、座薬、注射剤など剤形も様々です。チームでは、痛みの状態や、飲みや

すい方法など個々の患者さんの生活に一番合う鎮痛剤と一緒に選んでいきます。これらを上手に使うことで患者さんの痛みが緩和され、よりよい生活を送ることができるようになっています。

また、最近では注射剤を使用しながら自宅で過ごされる方も増えてきています。痛みがあると色々なことを考えることもできず、とても憂鬱な毎日になってしまいます。そんな毎日ではもったいないと私たちは考えています。リハビリも痛みをとるひとつの手段です。なるべく機能が落ちないようにすること、気分転換をはかることなど様々な面で患者さんの苦痛を緩和することができます。

(4 ページに続く)



▲PCA ポンプ

(3 ページから)

外来緩和ケア

緩和ケアが必要なのは入院中だけではなくありません。緩和ケアは最期の医療ではなく、がんと診断されたときから受けることができる医療です。がんと告知されるのも、がん治療も、最近では外来でということも増えています。がんになることで、治療だけではなく、それに伴う生活も残念ながら今までとは違うことも出てくると思います。どの治療が自分にとってベストなのか、それを選択したことで、どのような生活の変化が伴うのかなど、治療を決定するうえでも、お困りになることはたくさん出てくると思います。そんな時にも、皆さんの不安や疑問に応えながら、納得がいく決定ができるよう、また少しでも生活が楽になるようにお手伝いすることができます。

特に、抗がん剤治療をされている患者さんは治療による痛みや気持ちのつらさを感じることもあると思います。治療中の患者さん、ご家族ともコミュニケーションを通して、色々なつらさを緩和し、生活面での変化への対応方法、介護保険の利用方法、金銭的な悩みなど、個別に対応させていただいています。こんなことは誰に相談したらいいのか？と悩まず、そして我慢せず、何でも相談してください。

在宅緩和ケア

がんになっても、なるべく家で過ごしたいと希望される方がほとんどです。私たちは患者さんやご家族の希望を大切に、なるべく負担がかからない方法で、自宅での生活が継続できるかについても一緒に考えます。

そのために、地域の医療機関、介護福祉の関係者とも連携をとり、退院したあとも継続的にフォローできる体制も整えています。一番穏やかでいられる場所で苦痛なく、その人がその人らしく生きることをサポートさせていただくことが私たちの仕事です。



福祉用具プランナーとしての作業療法士の役割

コラム

作業療法士 高橋靖明

私は平成 25 年に福祉用具プランナーとして公益財団法人テクノエイド協会から認定をいただきました。

福祉用具プランナーとは、福祉用具プランニングを行う能力を有するものと定義づけられており、ケアチームの一員として、多職種や専門家と連携を取りながら福祉用具に関する適切な知識と適用に関する技術を有する者とされています。またその役割としましては、福祉用具に関する相談や苦情に応じ、福祉用具全般に関して利用者の立場から利用者の意思決定の支援を行う存在であるとされています。

実際に私は福祉用具プランナーを取得後、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟にて自宅復帰を目標とする患者さんを対象に、住宅改修の他、ADL の自立度向上のみならず QOL 向上を目的として積極的に福祉用具プランニングをしています。福祉用具プランナーを有して以降は、患者さんの機能面の向上にのみ着目するだけでなく、それぞれの疾患や障害に合わせた福祉用具プランニングが円滑に可能となったと感じています。例えば、下肢整形疾患患者さんに対して関節可動域や筋力を向上するだけでなく、現状の関節可動域や筋力に応じ、入浴場面ではシャワーチェアの導入や浴槽の中に設置する補助椅子の導入を推進しています。また、導入の目的や波及効果等を直接ケアマネジャーと連携を図り、円滑に自宅生活へ繋がられるようになったと実感しております。短い経験の中ではありますが、福祉用具プランニングを行う際に心がけるべき事は、利用者本位、自己決定権の尊重、自立支援の重視、介護負担の

軽減だと感じています。

作業療法士は患者さんの作業（ADL・家庭内役割・趣味・仕事など）の自立支援を心がけて日々介入させていただいています。病院内でのリハビリテーションの中で患者さんのために援助をする事は比較的容易に感じますが、退院後に病院スタッフがいない中で、いかに患者さん自らが主体的に作業に取り組むかが心身の健康にとっても重要であると考えています。その自立支援の手段の一つとして、福祉用具プランニングは環境面を軸に患者さんの主体性を導ける大きな技術であると自負しております。

現在、当院のリハビリテーション室の中では私の他に、作業療法課の三崎一彦課長、白井美奈子係長、石川竜乃介さん、理学療法課の川尻唯さんが福祉用具プランナーを有しております。今後も回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟をはじめ、自宅復帰に向けて機能面のみならず、環境に対するアプローチを多職種の方と協働し、患者さんとその家族の安心した暮らしのために日々精進していきます。



作業療法士のメンバーと（上段左手が高橋さん）

新入職員インタビュー

トピックス

新入職員を紹介いたします

当院では医師、看護師の他にもさまざまな職種のスタッフが働いております。この度、本年度入職の各職種新人スタッフにインタビューを行いました。全て当院の医療を支える大切な職種です。専門領域の内容はぜひご相談ください。



① **三浦 正晃**（みうら まさあき） **理学療法士**

- ② 様々な病期の患者さんのリハビリを行えるため。リハビリを行う環境が良い為。
- ③ わからないことや悩むことが多いが、学生の時には経験できないことを経験し、仕事として責任感を持って働くことにやりがいを感じています。
- ④ マヒがある人のリハビリに興味があります。
- ⑤ 疼痛に対する原因の同定。
- ⑥ 同じようなりハビリをやっていてもその患者さんにしっかりと合致したリハビリを提供すること。
- ⑦ 新人でまだまだ未熟ですが、精一杯頑張りますのでこれからよろしくお願いします。



① **大畑 沙織**（おおはた さおり） **言語聴覚士**

- ② チーム医療を学べると思ったから。
- ③ 患者さん一人ひとりに適切な評価、訓練を実施することのやりがいと難しさを感じました。
- ④ 患者さんの好きな話題で発話を引き出すこと。会話のきっかけ作り。
- ⑤ 限られた時間の中で低下している機能を向上させること。
- ⑥ 患者さんの気持ちに寄り添いながら介入していくこと。
- ⑦ 患者さんに笑顔になってもらえるよう頑張りますのでよろしくお願いします。



① **森國 さやか**（もりくに さやか） **作業療法士**

- ② 昨年の実習でお世話になった時に様々な患者さんと関わることやリハビリ室の雰囲気の良さに魅力を感じたからです。
- ③ まだ分からないことだらけですが、先輩方の手厚いサポートのおかげで楽しく過ごせています！
- ④ 片麻痺の方のリハビリに興味があります。
- ⑤ 書類業務…？
- ⑥ 作業療法のおもしろさを次の世代や作業療法を知らない人たちに伝えられるようなセラピストになることです。
- ⑦ 退院まで笑顔で全力でサポートします。二人三脚で一緒にがんばりましょう！よろしくお願いします。

①氏名（ふりがな） 職種 ②この病院を選んだ理由は？ ③実際に働いてみた感想は？
④自分の仕事の中で得意としている（興味のある）業務は？ ⑤逆に苦手としている今後の課題は？ ⑥目標としていることはありますか？ ⑦最後に患者さんへ一言お願いします。



① **鹿野 彩未**（かの あやみ） 薬剤師

- ② 雰囲気明るかったため。
- ③ みなさん優しいです。
- ④ 今は調剤メインですが、病棟業務に興味があります。
- ⑤ 1つのことに集中してしまうと周りが見えなくなるので気を付けます。
- ⑥ 自分の専門分野を見つけたいです。
- ⑦ 初心を忘れず、患者さんの気持ちに寄り添うことのできる薬剤師を目指したいと思います。



① **伊藤 朱莉**（いとう あかり） 臨床検査技師

- ② この病院では多種多様な検査業務に携わることができるため選びました。
- ③ 健康フェスタなど地域の方々とのイベントがあり、開放的な雰囲気が良いと思いました。
- ④ 生理検査が好きです。人とのコミュニケーションをとることが好きなので、直接患者さんと接し、お話しできる所が楽しいです。
- ⑤ 採血があまり得意ではないためたくさん練習していきたいです。
- ⑥ 勉強や実績をたくさん積み、将来超音波検査士の資格を取りたいです。
- ⑦ 気軽に健康診断や健康フェスタにおこし下さい！



① **宮崎 広次**（みやざき こうじ） 社会福祉士

- ② 無料低額診療事業に力を入れている点に魅力を感じました。
- ③ 社会人としても1年目であり、不慣れなことも多く大変ですが、日々の業務から病院で働く上で大切なことを学んでいます。
- ④ 院内外における連携に携わっているので、よりスムーズに連絡・調整が行えるように頑張りたいです。
- ⑤ 情報をわかりやすく相手に伝えることがうまく出来ない事があり、今最も勉強している所です。
- ⑥ 1日でも早く仕事を覚えて、業務を独り立ちしたいです。
- ⑦ 患者さんに良質な医療を提供できるようにサポートしていきたいと思いますので、これからよろしくお願いいたします。

かとう きよえ 加藤清江 絵画展示

小樽生まれで 1999 年に亡くなられた画家 加藤清江さんの絵画作品 3 点をご遺族よりご寄贈された共育の森学園様よりお預かりしております。

加藤さんはスキーを愛したスポーツウーマンでもあり、生前は 5 度にわたり全国スキー大会に出場され、役員としては冬季オリンピック大会にも 2 度参加されております。

絵筆においては札幌において 20 回にも及ぶ個展を開催しており、フランスでも 4 回個展を開催しておりました。

お預かりしている絵画は当院売店前に展示させていただいております。どなたでも自由にご鑑賞いただけますので、ご来院の際は是非一度お立ち寄りください。



大 好 評 出前健康教室



7 月 11 日（水）小樽市内の小学校（桜小学校）PTA の依頼で出前健康教室を開催いたしました。小学校ということもあり「子供の多い怪我、成長痛について」を整形外科 興村慎一郎医長・「知ってるようで意外と知らない？身近な薬～痛み止め～子どもと大人で薬は違う？」を中村圭介薬剤師の 2 名の講師で行いました。

実際の事例なども挙げながらの講演で、参加された父母の皆さんは真剣にメモを取りながら聞き入っていました。講演後の質問も予想以上に多くあり小さな集まり（30 名程度）ではありますが、病院スタッフと参加者とのコミュニケーションがとれ、地域の皆さんにも記憶に残る健康教室が出来たのではないかと思います。

地域医療支援課 伝法 俊和



連携医療機関紹介

医療法人 札幌ハートセンター 札幌心臓血管 クリニック



住所：札幌市東区北49条東16丁目8番1号
TEL：011-784-7847

時 間	月	火	水	木	金	土
8:30 ~ 11:30	●	●	●	●	●	●
13:00 ~ 16:30	●*	●	／	●	●	／

※休診日／水曜・土曜日午後・日曜・祝日 ※月曜は19:30まで
(24時間救急救命体制・夜間・土日祝日対応可能)

理事長 藤田 勉



【診療科目】

●循環器内科●内科●心臓血管外科●心臓内科●麻酔科

【医院紹介】

2008年4月に19床の札幌心臓血管クリニックを開設以来、心臓カテーテル治療は年間2,000症例を超えて全国トップレベルになり、心臓血管治療の専門医院として実績を重ねて来ました。

また、2012年には心臓血管外科医、道井洋吏先生を院長に迎え循環器内科・心臓血管外科のハイブリット治療体制を確立させてきました。

加えて2013年には不整脈部門治療にも対応できる体制を整え、あらゆる心疾患治療に対応可能になりました。この間2013年には第2期工事を行い、病床数を19床から53床に増床し病院となりました。医師の増員、設備面でも道内初の256列心臓血管CT、MRIの導入、手術室2室を新設致しました。2014年10月には3期棟も完成し、不整脈治療が本格的に本院にて稼働する事が出来ました。病床数も53床から74床へと増床、カテーテル治療室を3室から6室と増設し、循環器内科の心臓カテーテル治療専用室5室、心臓血管外科と循環器内科のカテーテル治療が同時に行えるハイブリット手術室が1室となっております。医師数は循環器内科医、心臓血管外科医、不整脈専門医の、麻酔科2名の合計20名以上の病院となりました。

今後も全スタッフ一丸となって常に最良の医療の提供に努めていきます。

【可能な検査項目】

256列マルチスライスCT、IQon Spectral(アイコンスペクトラル)CT、ABI検査(動脈硬化の検査)、エコー(心臓・頸動脈・腎動脈・下肢動脈・下肢静脈・経食道・腹部エコー)、各種心電図検査(運動負荷心電図、加算平均心電図長時間心電図、イベントモニター心電図)、MRI、冠動脈血管造影

医療法人 徳洲会 札幌東 徳洲会病院



住所：札幌市東区北33条東14丁目3番1号
TEL：011-722-1110

時 間	月	火	水	木	金	土
7:00 ~ 11:30	●	●	●	●	●	●
16:00 ~ 19:00	●	●	●	●	●	／

※休診日／日曜・祝日(急患の場合は夜間・土日祝日対応可能)

院長 太田 智之



【診療科目】

総合内科・総合診療部、循環器内科、消化器内科、IBDセンター、呼吸器内科、血液・腫瘍内科、小児科、外科、整形外科、乳腺外科、肛門外科、脳神経外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、眼科、形成外科、麻酔科、病理診断科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、救急科、皮膚科、泌尿器科

【病院紹介】

当院は地域の皆様が健康を守って安心して日常生活を送ることができるように、今できることを最大限考えて地域に貢献していきたいと考えております。

重要な使命は「救急医療」と考え、救急搬送患者を年間約9500件受け入れ診療を行っております。また、その範囲は札幌市内にとどまらず全道各地に及んでいます。

2017年4月よりTAVI(経カテーテル大動脈弁留置術)の認定病院となり、手術が困難とされた弁膜症患者に対して体の負担が少ない治療を行うなど、当院ハートセンター(循環器内科・心臓血管外科)は全道で有数の実績を残しています。また、がん治療にも力を入れており、2017年4月よりがん診療連携指定病院の指定を受け、手術(内視鏡を含む)と化学療法・リニアク(高エネルギー放射線治療装置)の稼働でがん初期発見から高精度放射線治療まで一貫して行っております。

当院は、増加する外国人への対応を行っており、道内で唯一厚生労働省の「医療機関における外国人患者受入れ環境整備事業」の拠点病院に認定されています。また、厳しいチェックを数多くクリアし、国際的な医療機能評価機構であるJCI認定を取得し、グローバル化と医療の高度化に対応すべく、より質の高い医療の提供を目指していきます。

【可能な検査項目】

骨密度検査、内視鏡検査、PSG検査、PET-CT検査、RI検査、CT検査、MRI検査

ご案内

無料低額診療事業のご案内

済生会小樽病院では、生活困難な方が経済的な理由によって必要な医療（治療）を受ける機会が制限されることのないよう、医療費の自己負担を軽くする診療費減免（無料低額診療事業）を実施しています。下記のような方は、相談窓口にお越しくださるか、看護師・事務職員にお申し出ください。

（どの程度負担を軽くできるかは、収入や必要な医療費によって変わります）

- 病気で仕事を辞めた ●収入が減った ●年金額が低い
- 生活保護に該当しなかった ●非課税世帯 ●借金があり生活困難

基準を満たしているかどうかを判断する為、収支の分かる資料（源泉徴収や課税証明書などの申請者及び世帯全員の収入がわかるもの等）を提出していただきます。この制度の利用をご希望される場合は、“総合案内”（1階ロビー内）にてお申し出ください。医療ソーシャルワーカーがご事情をお伺いいたします。



交通のご案内



■中央バスをご利用の場合

- 「各種系統 ばるて築港線」にて済生会小樽病院前下車し徒歩1分
- 「系統2番・3番 本線（桜町～高島3丁目）・（新光2丁目～手宮）」
- 「系統6番 望洋台線（小樽駅～望洋台シャントウエ下）」にて小樽築港で下車し徒歩10～15分
- 「高速バス おたる・よいち・ニセコ・いわい号」潮見台下車徒歩10分

■JRをご利用の場合

- JR小樽築港駅から徒歩10～15分

施設認定

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本消化器病学会専門医認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本甲状腺学会認定専門医施設
- 日本神経学会専門医教育施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本手外科学会基幹研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
- JSPEN 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- JCNT 日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設

～ 院 是 ～

恕

じょ
（おもうやり）

～ 専門外来の受診について ～

当院の専門外来は、「他医療機関の紹介状」及び当院の一般外来からの紹介が必要です。また、専門外来によっては「完全予約制」となりますのでご注意ください。詳細につきましては、各科外来もしくは、下記までお問い合わせください。

予約センター専用ダイヤル 0120-489-275（病院診療日の平日14:00～16:00）